

令和7年度 薬事功労者厚生労働大臣表彰

謝辞 白滝 貴子

このたび、令和7年度薬事功労者厚生労働大臣表彰を拝受いたしました。

身に余る光栄であり、これまでご指導とご支援を賜りました多くの先生方、そして日々地域の最前線で活動されている薬剤師の皆さまに、心より感謝申し上げます。



薬剤師として歩み始めてから今日に至るまで、常に心にあったのは「薬を通じてその方の人生に寄り添う」という思いでした。

地域で暮らす方々の健康や生活の支えとなれるよう努めてまいりましたが、振り返れば、むしろ多くのことを教えてくださったのは患者さんや共に働く仲間たちでした。

出会う一人ひとりとの関わりが、薬剤師としての私を育ててくれたのだと感じています。

近年、少子高齢化の進行や医療 DX の推進など、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。そのような中で、薬剤師に求められる役割はますます広がり、地域包括ケアの一翼を担う存在としての責任はさらに大きくなっています。

このような時代だからこそ、それぞれの薬剤師が専門性を磨き、多職種と連携しながら、地域に根ざした活動を続けていくことが重要だと感じています。

今回の受賞は、私ひとりに与えられたものではなく、これまで共に歩んできた仲間や、地域医療を支えてこられた多くの薬剤師の努力が認められた結果であると受け止めております。

これからも薬剤師としての原点を忘れず、地域の皆さまとともに歩みながら、その思いを次の世代へつないでいきたいと思っています。